資　料　提　供	
令和４年９月２７日	
所属 （担当）	日野高等学校 （教頭　今村）
電話	0859-72-0365

令和４年度「日野探求Ⅱ」開発商品試食会の開催について

日野高校では３年次に、一人一人が興味・関心のあるテーマについて研究、調査等をすることにより、主体的に学ぶ態度やプレゼンテーション能力の育成を目指す「日野探求Ⅱ」の授業に取り組んでいます。今年度は、「地域を元気にする」プロジェクトとして、『防災食』をテーマに取り組んだチームが、ローリングストックを意識した日常でもたべられる防災食の商品化を目指し研究を進めてきました。

今回は、生徒が開発したレシピをもとに地域の事業所に製造していただいたものを、日野町長様や生産者様などに試食していただく会を開催しますので、取材をよろしくお願いします

記

１　主　催　鳥取県立日野高等学校

２　日　時　令和４年１０月１９日（水）午後１時３０分から午後２時まで

３　会　場　日野町山村開発センター　日野郡日野町根雨１０１　１階　大集会室

４　参加者　日野町長始め日野町役場関係者　他
(株)優栽　松本　洋一　氏
日野高等学校校長　坪倉　寿樹

５　参加生徒　３年次生３名

６　内　容　（１）商品開発の取組説明
（２）開発商品の試食「やわらか大山おこわ」「カレー風味ポトフ」
（３）今後の販売予定
１０月２２日　米フェスタ（米子コンベンションセンター）他

７　担　当　教諭　見世ちづる

８　取材で来校される方へ
（１）詳細は別紙要項を御覧ください。
（２）取材される場合は事前に学校にお知らせください。
（３）下記の新型コロナウイルス感染症対策についてご協力ください。
①参加される方は、マスクの着用と手指の消毒をお願いします。
②当日、体調の優れない方、また、ご家族等が感染者もしくは感染症の濃厚接触者である場合、参加をご遠慮いただくことがあります。予めご了承ください。

日野高校マスコットキャラクター『オッシー・ドリー』

令和４年度「日野探求Ⅱ」開発商品試食会　実施要項

日野高校では３年次に、一人一人が興味・関心のあるテーマについて研究、調査等をすることにより、主体的に学ぶ態度やプレゼンテーション能力の育成を目指す「日野探求Ⅱ」の授業に取り組んでいます。今年度は、「地域を元気にする」プロジェクトとして、『防災食』をテーマに取り組んだチームが、ローリングストックを意識した日常でもたべられる防災食の商品化を目指し研究を進めてきました。

今回は、生徒が開発したレシピをもとに地域の事業所に製造していただいたものを、日野町長様や生産者様などに試食していただく会を開催します。

１　日　　時　令和４年１０月１９日（水）１３：３０～１４：００

２　場　　所　日野町山村開発センター　鳥取県日野郡日野町根雨１０１　１階　大集会室

３　内　　容　商品開発の取組説明
開発商品の試食　２種
吉田ふるさと村（島根県）製造「やわらか大山おこわ」「カレー風味ポトフ」
今後の販売予定
１０月２２日　米フェスタ（米子コンベンションセンター）
１０月２２日　鳥取県植樹祭（日野町滝山公園）
１０月２３日　生きいきひのふれあいまつり（日野町役場前駐車場）　他

４　開発商品概要
・(株)優栽の松本さんから非常時にもおいしい防災食を研究してもらいたいとの依頼を受け取り組みを開始した。
・高齢化が進む日野町で、日常でも非常時でも食べてもらえるものを目指した。
・非常時でも馴染みのあるものを食したいのではと考え、郷土食である「大山おこわ」の保存食を作ることを考えた。高齢者や幼児でも食べやすいよう、おかゆ風に柔らかく仕上げているため、常温でも食べることができる。
・「カレー風味ポトフ」は、松本さんのパックご飯と一緒に食べることを想定。「防災時は温かい汁物がほしいのでは」と思いポトフにした。カレー風味により、疲れたときに食欲が増すように考えた。
・「やわらか大山おこわ」には、松本さんが栽培された海藻米（コシヒカリ・鈴原糯）が、両方に日野町産原木椎茸が使用されている。
・常温保存できるので、金持テラス等でお土産物としての販売も期待している。

５　参加予定者　日野町長　埒田　淳一　氏
日野町役場総務課　天野　智　氏
日野町役場産業振興課　中田　雅大　氏
株式会社優栽　松本　洋一　氏
日野高等学校長　坪倉　寿樹　　他

６　参加生徒　　３年　大隈　夏子　舟越　琴乃　出浦　彰人

７　担当者　　教諭　見世　ちづる

８　新型コロナウイルス感染症対策について
・発熱、風邪のような症状（体調不良等）がある場合は参加を御遠慮いただく。
・当日、　健康チェックシートに記入してもらう。（別紙参照）
・アルコール消毒液や手洗いで手指消毒を徹底する。
・参加者全員がマスクを着用する。